

新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、本学のボランティア活動の制限を変更します。詳細は次のとおりです。

変更点

次の活動については、団体の感染症対策を確認できた活動のみ、ボランティア支援室にて周知を再開します。

- ・ 団体が管理する宿泊を伴うボランティア活動
- ・ 団体が管理する飲食を伴うボランティア活動
- ・ 神奈川県外のボランティア活動

【宿泊や会食に関する注意事項】

- ・ 宿泊や会食（友人宅含む）時、マスクを外して会話することで感染リスクが高まります。ボランティア活動前後の会食や友人宅等への宿泊は控えてください。
 - ・ 活動の打ち合わせや反省会などを兼ねる場合でも、マスク会食を徹底しましょう。
 - ・ 宿泊時も、マスクを外しての会話は控え、就寝中以外はマスクを着用しましょう。
 - ・ 水分補給など一時的にマスクを外す際も会話を控え、感染防止に取り組みましょう。
- ※後述「2(4)熱中症について」を参照のこと。

＊ワクチンを接種しても、マスクの着用、手指消毒、手洗い、換気の徹底、3密の回避（密閉、密集、密接）など、感染防止対策を徹底してください。

＊大人数（5人以上）での会食、感染リスクが高まる行動は避けてください。

＊4人以下でもマスク会食を実施しましょう。マスク会食が困難な場合は、会食自体をやめてください。

【体調が悪いかな…と思ったら】

発熱がなくても、咳の症状や、のどの痛みで陽性が確認されています。思い当たる症状がある場合は、すぐにかかりつけ医などに受診し、PCR 検査を受けてください。

※大学で周知をしていない活動については、自己責任となります。活動先の感染症防止対策を確認し、十分留意してください。

個別に相談がある場合は、ボランティア支援室のフォームまたはメールにて、問い合わせしてください。

横浜市立大学のボランティア活動における 新型コロナウイルス感染防止対策の注意事項

1 ボランティア活動届け出の提出

ボランティア支援室で周知・募集をしている活動は「ボランティア活動届け出」の提出をお願いしています。届け出をしていない方は、ボランティア支援室までメールで問い合わせしてください。手続きのご案内をします。

※すでに届け出済みの方は、再度の届け出は不要です。

2 活動を行う際の注意事項

(1) 活動前

■自宅での健康状態を確認しましょう。

特に次の5つの項目を必ずチェックし、1つでも該当する項目がある場合は活動を控えましょう。

- ・ 検温を行い、発熱(平熱以上)がある
- ・ せきや、のどの痛み、違和感がある
- ・ 身体のだるさ(倦怠感)を感じる
- ・ 嗅覚や味覚の異常がみられる
- ・ 家族、同居する人に発熱や上記の症状がみられる。もしくは感染者がいる

■団体に感染症対策のルールを確認しましょう。

団体ごとに、感染症対策のルールが異なる場合があります。

自分がしなくてはならない感染症対策があるか、必ず事前に団体スタッフの方に問い合わせをしましょう。

(2) 移動時(自宅↔活動先)

■濃厚接触の回避を心掛けましょう。

できる限り公共交通機関の利用を避けましょう。利用が不可欠な場合は、混雑時を避け、接触感染防止に努めるなど注意をしましょう。

移動中も熱中症に注意をして、マスクを着用しましょう。

※後述「(4) 熱中症について」を参照のこと。

(3) 活動中

■団体スタッフの方に、再度、感染症対策の対応方法について確認をしましょう。

気になることや不安なことがあったら、遠慮せずに聞きましょう。

■自分の健康状態にも気を付けましょう。
せきやのどの痛み、身体のだるさ（倦怠感）を感じたときは、活動を中止し団体スタッフの方へすぐ申し出ましょう。また、すぐ帰宅しましょう。

■石けんでの手洗いやアルコール消毒剤での手指消毒を徹底しましょう。

■屋内で活動する場合、必ず換気をしましょう。

■3密（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集する場所、密接場面での会話）を避けるようにしましょう。また、大人数が一堂に会する場合、活動を複数に分けて活動する、ミーティングなどを行う場合は人との距離を2メートル以上離すなど、密を回避する工夫をして活動しましょう。

3密の対策例

- ・常時、窓や扉を開け、換気を行う。（2方向から）
- ・人と人との間隔をあける。（マスク着用時最低1メートル）
- ・施設ごとの利用可能人数の範囲内で活動する

■できる限り自身の所有物を使用し、貸し借りは行わないようにしましょう。
備品を共有する場合は、消毒や手洗いをするようにしましょう。

■活動中もマスク着用を徹底しましょう。一時的にマスクの着用が困難な場合は、人との距離（2メートル以上の確保）をとり、手で口や鼻に触れないようにしましょう（手のひらはウイルスが付着しやすい）。また活動中は、大声を出したり顔を近づけて会話をしたりなどは、避けるようにしましょう。

(4) 熱中症について

マスク着用時は熱中症のリスクも高くなります。暑さやほてり、気分が悪くなりそうな場合は、早い段階で人から距離を置いてからマスクを外し、体温を下げるようにしましょう。

また活動中でも定期的な水分補給を心掛けましょう。活動中に水分補給をしても良いか分からない場合は、事前に団体スタッフの方に確認をすると良いでしょう。

(5) 活動後

■活動後も石けんでの手洗いやアルコール消毒剤での手指消毒を徹底しましょう。

■活動が終了したら速やかに帰宅しましょう。会食や飲み会などは控えましょう。

3 その他の注意事項

活動先から感染者が発生したときや自らが感染・濃厚接触者の可能性が発生した場合は、すぐに保健管理センター又はボランティア支援室へ連絡してください。

- ・保健管理センター TEL 045-787-2270
開室時間 8:30～17:15（土・日・祝は除く）
- ・ボランティア支援室 TEL 045-787-2444 メール voluntee@yokohama-cu.ac.jp
開室時間 10:00～17:00（土・日・祝は除く）
- ・時間外（大学代表） TEL 045-787-2055